

目次

	頁
太陽磁場測定装置——岡山天体物理観測所太陽ベクトル マグネットグラフの始動——	牧田 貢 284
「ひのと」のみた太陽フレア	常田 佐久 289
雑報……天文・天体物理若手夏の学校	294
訂正	294
中性子星は膨らむか——X線バーストに関連して——	花輪 知幸 295
訃報	297
白色光フレアの眼視および写真観測の報告 ……日江井栄二郎・小石川正弘・清水良治・小林正人・鈴木美好	299
書評……中国古代天文学簡史	302
雑報……星間塵の赤外スペクトルについての Work Shop	304
天文ナンバーワン物語 [XI]……一番大きかった太陽黒点	牧田 貢 305

—表紙説明—

ベクトルマグネットグラム。1983年1月22日に観測した典型的な活動領域。(時刻は世界時)。上が北、左が東、緑は磁場の視線に直角成分であり、棒はその方向を表す。赤と青は磁場の視線成分で、赤では磁力線がこちらを向き、青では向こうを向いている。ピンクは視線成分ゼロの中性線である。(磁場強度については本文参照) 右下は10"の白四角である。(p. 284 牧田氏記事参照)

地人書館の天文書 ● 好評発売中

■新刊■

現代の数理科学シリーズ④⑤

天体力学入門(上)(下)

長沢 工著 A5 定価各2000円(千各250円)
「むづかしい」といわれる天体力学を初心者にもわかるよう書かれた入門書。上巻では運動方程式の意味とその解法、2体問題と軌道要素、楕円運動の展開式などをやさしく解説した。下巻では天体力学の真髄ともいえる摂動論と正準変換の理論と実際などを具体的に展開し、このほか人工衛星の運動学論などにもふれた好著。

天文学通論

鈴木敏信著 A5 定価3800円(千300円)
「鈴木を通論」として定評のある「天文学通論」が最近の研究を盛り込んで新しく生まれ変わりました。惑星探査機による最新の情報と分析、電波天文学によるさまざまな成果、超高密度天体や新型小宇宙の観測、X線天体などを全面的に書き改め、数値についても最新のものを使用した。

'84天文手帳 一星座早見盤つき 天文ポケット年鑑

土田嘉直編 A6 定価500円(千240円)
新たに天体写真の撮影データを加え便利さ百倍。

東京都文京区後楽1-1-10 振替東京6-1532 ☎(815)4422

天文博物館

五島プラネタリウム

東京・渋谷・東急文化会館8階
電話 (407) 7131,7409

- ☆ 11月 スペースシャトルと天文学
- ☆ 12月 クリスマスと星

投影時間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
平日	10.00	11.30	1.00	2.30	4.00	6.00
土日・祝日	10.30	12.00	1.30	3.00	4.30	6.00

- 平日 10.00 の回は団体に限ります。
- 休館日 毎週月曜日(祝日のときは翌日休館)
- 料金 大人500円・小、中学生300円・幼児(4才以上)200円



天球儀